a-blog cms メンテナンスプログラム

リリース日：2009/12/24

ご利用方法

このメンテナンスプログラムは、a-blog cmsのデータのエクスポート／インポート、MovableTypeからのコンバート、CSVファイルからのコンバート、の4つの機能を実装しています。

- エクスポート 2
- インポート 4
- Movable Typeデータからのコンバート 6
- CSVファイルからのコンバート 7

ご利用にあたっての注意事項

- メンテナンスプログラムを実行するには、ルートブログの管理者権限のIDまたはメールアドレスと、パスワードによるログインが必要です。
- 各種機能を実行する場合は、データベースのエクスポートをはじめ、「themes」、「archives」ディレクトリを必ずバックアップしてください。

エクスポート

このエクスポート機能を使うことで、a-blog cmsのエントリー、テーマ、画像のなどのファイルをyaml, gzip, zip形式で

書き出すことができます。この機能で書き出したファイルは、他のa-blog cmsに取り込むことが可能です。

a-blog cmsのデータをエクスポートするのに必要なもの

- エクスポート元のa-blog cms（v1.2.0以降）
- メンテナンスプログラム（v1.2.0以降のパッケージに同梱）

エクスポートするファイル形式

エクスポートするファイル形式は yaml, gzip, zip形式から選択できます。

✦ yaml形式（標準）

yaml形式のファイルのみエクスポートします。別途「archives」と「themes」ディレクトリをFTP等でダウンロードしてください。（「themes」ディレクトリは任意です。テーマもエクスポートする場合のみで構いません。）

✦ zip形式、gzip形式

これらの形式は、 yaml形式のファイル、「archives」、「themes」ディレクトリ を圧縮してエクスポートします。環境によりこれらの形式が利用できない場合があります。その場合は、標準のyaml形式でエクスポートしてください。

- zip形式による一括エクスポート
  お使いの環境のPHPがバージョン5以降で、ZipArchiveをサポートしている必要があります。
- gzip形式による一括エクスポート
  お使いの環境のPHPがバージョン4以降でご利用になれますが、環境により正常に動作しない場合があります。また、お使いのPC環境によりgzip形式を解凍できるソフトウェアが必要な場合があります。

注意事項

✦ 実行は慎重に

エクスポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重におこなってください。

エクスポート手順

1. ダウンロードしたa-blog cmsのパッケージ内にある「setup」ディレクトリの名称を「mente」に変更し、index.php と同じ場所にアップロードします。

注意	「setup」のままでアップロードすると、設置場所のトップページにメンテナンス画面が表示されます。ユーザーにサイトを表示させたくない場合など、必要に応じて「setup」のままでアップロードしてください。

2. 「mente」ディレクトリのパーミッションを「777」（一部環境では755）にします。

3. Webブラウザで、以下のアドレスにアクセスします。メンテナンスプログラムのログイン画面が表示されます。
   http://ご利用のサーバーのドメイン/a-blog cmsを設置しているディレクトリ/mente/
4. ユーザーID／メールアドレス、パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインします。
5. エクスポートするブログを選択します。
6. ダウンロードするファイルの名前と形式を指定します。
7. [実行]ボタンをクリックすると、エクスポートデータのファイルをダウンロードします。

インポート

このインポート機能を使うことで、エクスポートしたファイルをa-blog cmsに取り込み、エントリー、テーマ、画像などを、お使いのa-blog cmsで利用できるようになります。

a-blog cmsのデータをインポートするのに必要なもの

- a-blog cmsのデータをエクスポートしたyaml形式のファイル
- 「archives」ディレクトリ
- 「themes」ディレクトリ（任意）
- メンテナンスプログラム（v1.2.0以降のパッケージに同梱）

注意事項

✦ 実行は慎重に

インポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重におこなってください。

✦ カテゴリーコードとエントリーコードの重複

既存のコンテンツとインポートされるコンテンツとの間で同じコードをもつエントリーやカテゴリーが存在する場合はコードの重複が発生します。その場合はコンテンツが正しく表示されない可能性がありますので、インポート後に管理ページから個別に修正してください。

✦ コンフィグ・ルール・モジュールIDの設定

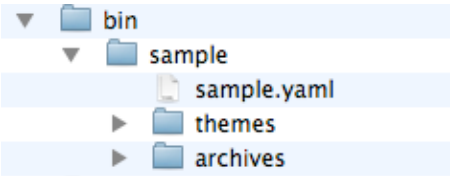
コンフィグ・ルール・モジュールIDの情報をインポートする場合は、既存のコンフィグ・ルール・モジュールIDを破棄してください。既存の設定を破棄せずにインポートする場合は予期せぬ不具合が発生する可能性があります。

インポート手順

1. ダウンロードしたa-blog cmsのパッケージ内にある「setup」ディレクトリの名称を「mente」に変更し、index.php と同じ場所にアップロードします。

注意	「setup」のままでアップロードすると、設置場所のトップページにメンテナンス画面が表示されます。ユーザーにサイトを表示させたくない場合など、必要に応じて「setup」のままでアップロードしてください。

2. ./mente/bin/内に任意のディレクトリを作成し、その中にエクスポートしたyaml形式のファイルを入れます。
   ★このとき、任意で作成したディレクトリ名とyaml形式のファイル名を同じにしてください。
   例）yaml形式のファイル名が「sample.yaml」の場合、ディレクトリ名は「sample」にします。
   ./mente/bin/sample/sample.yaml
3. 手順（2）で作成したディレクトリ内に、インポートしたいブログの「themes」と「archives」ディレクトリを入れます。（「themes」ディレクトリは必要に応じて入れてください。）
   例）



4. Webブラウザで、以下のアドレスにアクセスします。メンテナンスプログラムのログイン画面が表示されます。
   http://ご利用のサーバーのドメイン/a-blog cmsを設置しているディレクトリ/mente/
5. ユーザーID／メールアドレス、パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインします。
6. インポート先またはその親になるブログを選択します。
   選択したブログの子ブログとして新規作成することもできます。その場合は、「選択したブログの子ブログとして新規作成する」にチェックを入れてください。
7. インポートする（インポート元）ブログデータ名を選択します。

注意	この選択肢には、「bin」ディレクトリ内のものが表示されます。インポートしたいブログデータ名が表示されていない場合は、「bin」ディレクトリの中を確認してください。（→手順2）

8. [コンフィグ関連のインポート設定]で適宜必要な項目にチェックを入れます。
9. [実行]ボタンをクリックすると、インポートが実行されます。

Movable Typeデータからのコンバート

Movable Typeのデータをエントリー・カテゴリー・タグ・ユーザー・コメントに変換してインポートします。

※ 現在はMovable Typeのエクスポートデータ(txt形式)とカンマ区切りデータ(csv形式)のコンバートに対応しています。

コンバート後のユーザーは購読者権限で作成され、パスワードは「pass」と設定されます。必要に応じてユーザー情報を整理してください。

Movable Typeのデータを以下の5つに分解してデータベースに格納します。

- エントリー（＋ユニット）
- カテゴリー
- コメント
- ユーザー
- タグ

注意事項

✦ 実行は慎重に

インポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重におこなってください。

✦ カテゴリーコードとエントリーコードの重複

既存のコンテンツとインポートされるコンテンツとの間で同じコードをもつエントリーやカテゴリーが存在する場合はコードの重複が発生します。その場合はコンテンツが正しく表示されない可能性がありますので、インポート後に管理ページから個別に修正してください。

Movable Typeデータからのコンバート手順

1. Movable Typeからエクスポートデータ(txt形式)またはカンマ区切りデータ(csv形式)を出力します。
2. ダウンロードしたa-blog cmsのパッケージ内にある「setup」ディレクトリの名称を「mente」に変更し、index.php と同じ場所にアップロードします。

注意	「setup」のままでアップロードすると、設置場所のトップページにメンテナンス画面が表示されます。ユーザーにサイトを表示させたくない場合など、必要に応じて「setup」のままでアップロードしてください。

3. Webブラウザで、以下のアドレスにアクセスします。
   http://ご利用のサーバーのドメイン/a-blog cmsを設置しているディレクトリ/mente/
4. ユーザーID／メールアドレス、パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインします。
5. コンバート先のブログを選択します。
6. コンバート元になるファイルを選択します。
7. [実行]ボタンをクリックすると、コンバートを実行します。

CSVファイルからのコンバート

カンマ区切りデータ(csv形式)をエントリー・カスタムフィールドに変換してインポートします。

CSVファイルに、カスタムフィールドの情報のみが含まれる場合は、エントリーを自動で作成します。

注意事項

✦ 実行は慎重に

インポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重におこなってください。

✦ カテゴリーコードとエントリーコードの重複

既存のコンテンツとインポートされるコンテンツとの間で同じコードをもつエントリーやカテゴリーが存在する場合はコードの重複が発生します。その場合はコンテンツが正しく表示されない可能性がありますので、インポート後に管理ページから個別に修正してください。

✦ 既存のエントリーには付与できません

既存のエントリーに対してカスタムフィールドを追加することはできません。

CSVファイルからのコンバート手順

1. コンバートするカンマ区切りデータ(csv形式)を用意します。
2. ダウンロードしたa-blog cmsのパッケージ内にある「setup」ディレクトリの名称を「mente」に変更し、index.php と同じ場所にアップロードします。

注意	「setup」のままでアップロードすると、設置場所のトップページにメンテナンス画面が表示されます。ユーザーにサイトを表示させたくない場合など、必要に応じて「setup」のままでアップロードしてください。

3. Webブラウザで、以下のアドレスにアクセスします。
   http://ご利用のサーバーのドメイン/a-blog cmsを設置しているディレクトリ/mente/
4. ユーザーID／メールアドレス、パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインします。
5. コンバート先のブログとカテゴリーを選択します。
6. コンバート元になるCSVファイルを選択します。
7. [実行]ボタンをクリックすると、コンバートを実行します。

CSVファイルの例

```
entry_title,entry_code,cfd_zip,cfd_tel,cfd_addr
アップルップル,csv-1.html,460-0003,052-221-7300,名古屋市中区錦2-8-11 セイノー伏見ビル6F
あっぷるっぷる,csv-2.html,000-0000,000-000-0000,指定したentry_titleやentry_codeの通りにエントリーが生成されます
appleple,csv-3.html,111-1111,111-111-1111,フィールド名は任意の英数字で指定できます
```

entry_title　：エントリーのタイトル

entry_code　：エントリーのコード（既存のエントリーとの重複を避けユニークな文字列を指定してください）

それ以降の列　：任意のカスタムフィールド名

✦ テンプレートの記述

CSVファイルで指定した変数をテンプレートに記述することによって、CSVの内容がa-blog cms上で表示されるようになります。

例）カスタムフィールドをテンプレートに記述する変数と、その出力結果

テンプレートに記述する変数	出力結果例
{cfd_zip}	460-0003
{cfd_tel}	052-221-7300
{cfd_addr}	名古屋市中区錦2-8-11 セイノー伏見ビル6F